

# ♪ おるご〜る

No.168

男女共同参画

わこうプラン推進委員だより

## 「〇〇らしさ」から 「自分らしさ」～個人の 違いを大切にする～

わこうプラン推進委員

三好 光秀

「男の子なんだから泣くんじゃない!」、「女の子なんだからお手伝いくらいしなさい!」など「男だから〇〇しなさい」「女だから〇〇しなさい」そんな言葉を一度は言われ、そして子どもたちに向かって言った経験はありませんか?

男は「男らしく」、女は「女らしく」。生まれたときから当然のように言われ続けてきた言葉です。「男らしさ」とは「感情を出さない」「弱音をはかない」「泣かない」「家族を養う」など…。「女らしさ」とは「おしとやか」「か弱い」「控えめ」「家事・育児」など…。その「らしさ」の枠からでると「少し変わっている」と思われ、またそう思われたくないために社会の求める性別らしさに合わせようとしてきた面があるのではないのでしょうか?

でも、「科学的な男女の脳の性差」だって、個人には当てはまるとは限りません。男と女の違いは、厳密に言えば「妊娠する可能性があるか

か」、それだけかもしれないのです。

「男らしく」「女らしく」の枠をはずして「自分らしく生きる!」。男と女の違いをことさらに強調することはせず、「男らしく」「女らしく」といった社会が作り出した考え方にとらわれず、『自分らしく生きる』、『性別でなく、個性・個人差に着目する』という人間観を育ててみませんか?

「男らしさ・女らしさ」から「自分らしさ」へ。そのために必要なことは2点と考えます。「自分を知る」と「相手を尊重する」です。

「自分を知る」とは、思い込みを捨てて自分の土台となる価値観を確立する。自分の意思で生き方を選択する。「相手を尊重する」とは、周りの価値観や考え方を受け入れ、違いを認める。「自分らしさ」を自由に選択でき、自分を大切にすると同時に、周りの人の「その人らしさ」も大切にできる、固定的な性別意識から解放された環境になったら良いですね。

『男女共同参画苦情等処理窓口をご利用ください!』

「市の男女共同参画推進施策や男女共同参画の推進に影響を及ぼす施策への苦情」や「セクハラや男女共同参画を阻害する人権侵害の相談」をお受けします。

問合せ先：人権文化課 ☎ 424-9088

このコラムは市民であるプラン推進委員が、男女共同参画わこうプランの基本理念に基づき、男女共同参画を推進するための啓発活動の一環として執筆しています。